

逆流性食道炎に対する漢方治療



当院では逆流性食道炎に対する新しい内視鏡治療（ARMS）や、腹腔鏡を用いた手術治療（腹腔鏡下噴門形成術）などの治療を行っており、たくさんの患者さんが来院します。

（「逆流性食道炎（GERD）」の項参照）

良性疾患ですので全ての患者さんが内視鏡治療や手術の適応となる訳ではなく、内服治療で改善し経過をみる事が出来る方も多くおられます。

一般的には胃酸分泌を抑える薬を使用しますが、改善しない場合には漢方薬を使用することもあります。

胃食道逆流症の主な症状は、胸焼けや呑酸（酸っぱいものが上がってくる）、ゲップなどですが、喉の違和感や咳などの症状が出る方もいます。

あなたはどのタイプ？ よく使う漢方薬と使い分け

逆流性食道炎に対してよく使用する漢方薬には、

- ① りっくんしとう 六君子湯
- ② はんげしゃしんとう 半夏瀉心湯
- ③ はんげこうぼくとう 半夏厚朴湯

④ しょうさいことう 小柴胡湯

などがあります（他の薬を使用することもあります）。

4つの漢方薬に含まれている生薬を見てみると、よく似ていることが分かります。

六君子湯	半夏瀉心湯	半夏厚朴湯	小柴胡湯
○ ハンゲ	○ ハンゲ	○ ハンゲ	○ ハンゲ
○ ニンジン	○ ニンジン		○ ニンジン
○ ブクリョウ		○ ブクリョウ	
○ ショウキョウ	○ カンキョウ	○ ショウキョウ	○ ショウキョウ
○ カンゾウ	○ カンゾウ		○ カンゾウ
○ タイソウ	○ タイソウ		○ タイソウ
チンピ	○ オウゴン	コウボク	○ オウゴン
ビャクジュツ	オウレン	ソヨウ	サイコ

※ショウキョウとカンキョウは処理の仕方が異なりますがいずれも生姜です。

更にそれぞれの生薬について、気血水への作用や寒熱への影響を見てみると、よ

りその人に合った薬が分かってきます（詳細は「漢方の基礎知識」参照）。

➡: 理気 ↑: 補気 ⬆: 生津 ↓: 利水

温: 温める 寒: 冷ます

六君子湯	半夏瀉心湯	半夏厚朴湯	小柴胡湯
温 ハンゲ ➡	温 ハンゲ ➡	温 ハンゲ ➡	温 ハンゲ ➡
温 ニンジン ↑	温 ニンジン ↑		温 ニンジン ↑
ブクリョウ ↑↓		ブクリョウ ↑↓	
温 ショウキョウ ➡	温 カンキョウ ➡	温 ショウキョウ ➡	温 ショウキョウ ➡
カンゾウ ↑↑	カンゾウ ↑↑		カンゾウ ↑↑
タイソウ ↑↑	タイソウ ↑↑		タイソウ ↑↑
温 チンピ ➡	寒 オウゴン	温 コウボク ➡	寒 オウゴン
温 ビャクジュツ ↑↓	寒 オウレン	温 ソヨウ ➡	寒 サイコ ↻

少し複雑ですが、結論から言うと以下の様な使い分けになります。

- つかえる感じ・咽頭部の違和感・気分のふさぐ感じ
➡ **半夏厚朴湯**
- 逆流感・ゲップ・灼熱感
➡ **半夏瀉心湯**
- もたれ感・胃に水が溜まる感じ・食欲不振・易疲労感
➡ **六君子湯**
- 右肋骨下の張り・口の苦さ・イライラ
➡ **小柴胡湯**

① 半夏厚朴湯タイプ (気滞・気鬱、喉のつまりタイプ)

半夏厚朴湯の構成生薬を見てみると、ほとんどが**気の流れを良くする作用**を持つ**理気薬**であることが分かります。気の流れを良くすることで胃腸の流れも良くするという意味合いです。

生薬の数は5つと比較的少なく、**シンプルな処方**です（余談ですが漢方では生薬の数が少ないものの方が、**短期間で切れ味よく効果が出やすい**と言われています）。

この薬が合う人は、逆流性食道炎の中でも、**胸や喉のつまる様な感じ**が強いタイプの方です。典型的には、**喉に何か引っかかって取れない感じ**を訴えます。

みぞおちは少し張る様な感じがあり、気分がふさぐ様な感じや不安感がある様な場合はより良い適応となります。

② はんげしゃしんとう半夏瀉心湯タイプ（逆流・炎症タイプ）

半夏瀉心湯と六君子湯の構成生薬は良く似ており、5種類が同じ生薬です。

半夏瀉心湯の特徴は、気を補う薬と流れを良くする薬、そして熱を冷ます薬が入っていることです。

みぞおちのつかえる感じもありますが、どちらかと言うと逆流してくる感じやゲップ、胸焼け症状が強い方が適応となります。

お腹がゴロゴロ鳴り、時に消化不良で下痢をする様な方にも使います。

また炎症を抑える作用もあるので、口内炎に用いることもあります。

③ 六君子湯タイプ（気虚、胃もたれタイプ）

六君子湯は気を補う作用が非常に強いのが特徴です。

もともと四君子湯（ニンジン、ビャクジュツ、ショウキョウ、カンゾウ、タ
イソウ）という補気剤の基本処方に、二陳湯（ハンゲ、チンピ）という理気
剤を加えたもので、気が弱っていて胃の流れが悪くなっている人が適応とな
ります。

逆流症状よりも、胃もたれや食欲不振が強い方が適応となります。典型的に
は、胃に水が溜まってポチャポチャ音がするという症状が出ることもありま
す。

気の不足（気虚）が背景になっていますので、疲れやすい、食後すぐ眠くな
る、手足が冷えるなどの症状がある場合はより強い適応です。

六君子湯は漢方の中でも数多くの臨床研究がされている薬で、国内外から論

文報告がなされています。最近では食欲を増進させる「グレリン」というホルモンの分泌量を増やす薬理作用があることが分かり、注目を集めています。

上腹部の症状に幅広く用いられており、特に機能性ディスペプシアや逆流性食道炎においてはガイドラインでも紹介されています。

④ しょうさいことう小柴胡湯タイプ（右上腹部張り、口乾・口苦、イライラタイプ）

しょうさいことう小柴胡湯の特徴は、「サイコ」という生薬が入っていることです。

さいこ柴胡の入った漢方薬は「さいこざい柴胡剤」と呼ばれ、小柴胡湯はその基本処方です。

お腹の診察（ふくしん腹診）で、右の肋骨の下あたりが張る、「きょうきょうくまん胸脇苦満」という症状が出ると、柴胡剤の良い適応となります。

小柴胡湯はもともと「お腹に入った風邪お腹に入った風邪」の基本処方で、口が乾いて苦い、食欲がない、吐き気があり胸苦しい、などの症状に使います。

熱を冷ます生薬も入っており、「暑がったり寒がったりする」人が適応になる

とも言われます。

漢方の「五臓」で言う「肝」に効く薬とされ、イライラするような神経質な感じにも効果があります。

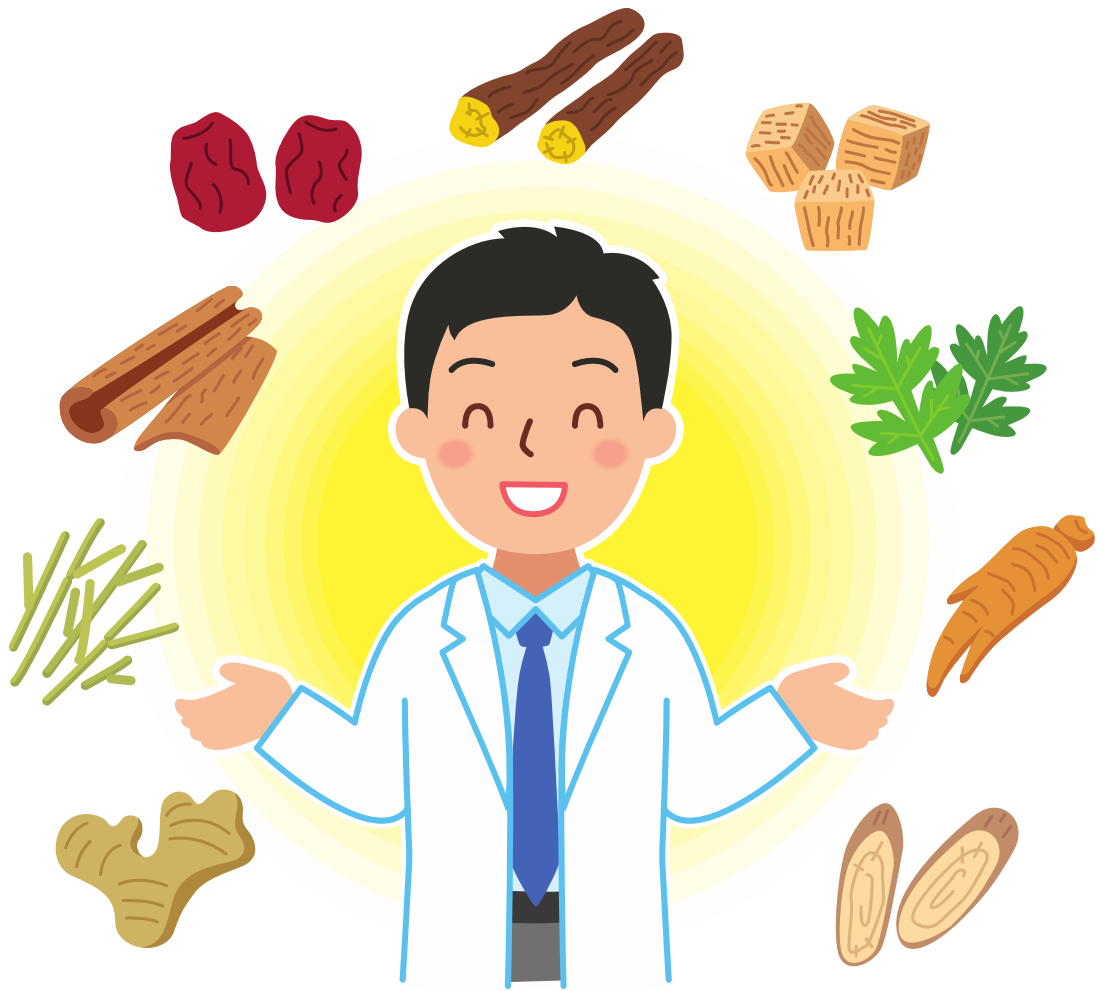
肝機能障害にも使われ、「間質性肺炎」の副作用でも有名になりました。

(「漢方薬は本当に安全? ~漢方薬の副作用の話~」の項参照)

⑤ その他の漢方薬

上記の半夏厚朴湯はんげこうぼくとうと小柴胡湯しょうさいことうを合わせた「柴朴湯さいぼくとう」など、

これまで紹介した3つの処方以外にも、逆流性食道炎の症状が適応になり得る漢方薬はたくさんあります。



漢方治療に興味のある方は消化器センター医師までご相談ください。